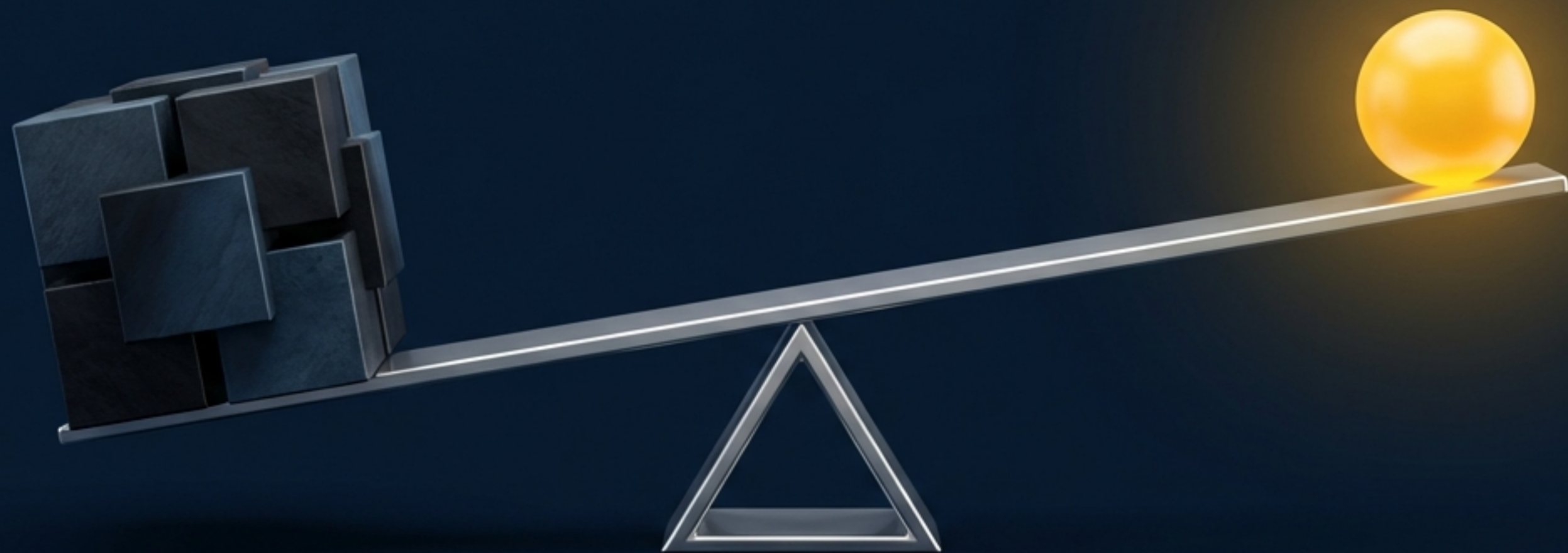


レバレッジ宅建合格術



「暗記」を捨て、「思考」で勝つ。忙しい大人のための最短合格メソッド

FOR THE STRATEGIC PROFESSIONAL

試験のルールは変わった。 「思考型問題」の台頭

OLD ERA



単純知識

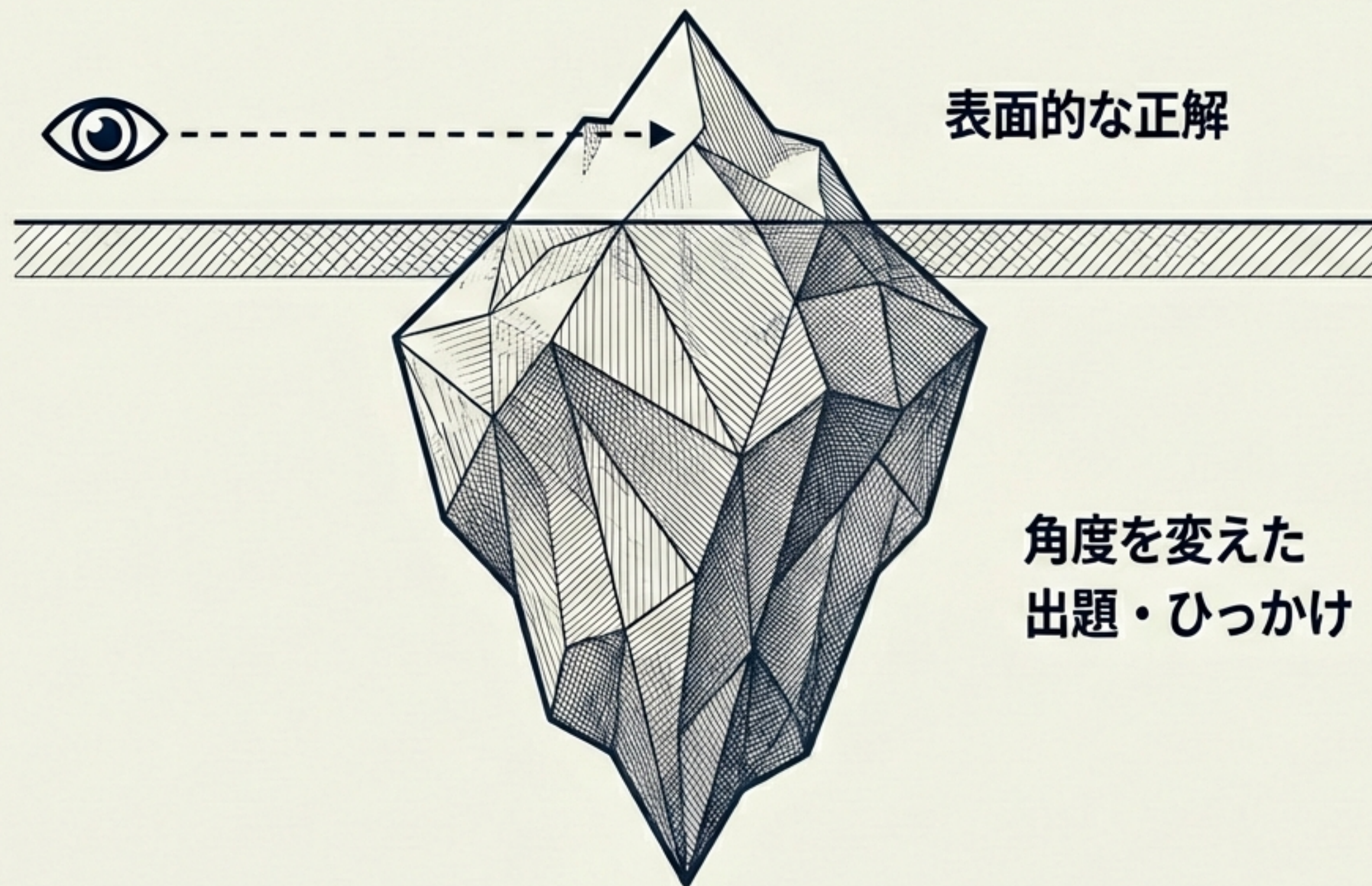
CURRENT ERA



思考力

- 近年の傾向：記憶力ではなく、読解力と論理的思考力が問われる。
- 変化：問題文は複雑化し、単なる暗記では太刀打ちできない。
- 現実：過去問の丸暗記は通用しなくなっている。

過去問回転の罠



- 手口：出題者は「切り口」を変え、選択肢に罠（トラップ）を仕掛ける。
- 結果：答えを覚えているだけの「浅い学習」では、罠に陥る。
- 感覚：「知っているはずなのに間違えた」「正誤の判断がつかない」という状態に陥る。

忙しいビジネスパーソンの「資源分散」リスク

- ジレンマ：学習範囲を広げすぎると、限られた時間資源が分散する。
- 結果：忙しい社会人がすべてを網羅しようとする、試験頻出論点への時間が不足する。
- 結末：どの分野も「中途半端」になり、合格点に届かない。



レバレッジの定義

暗記**最小限** × 思考力**最大化**

答えを暗記するのではなく、「考え方の型」を身につけること。

初見の問題でも正解を導き出せる「思考力」を構築する。

そのために、リソースを試験頻出論点に一点集中させる。

戦略1：「卵黄」にリソースを全集中する



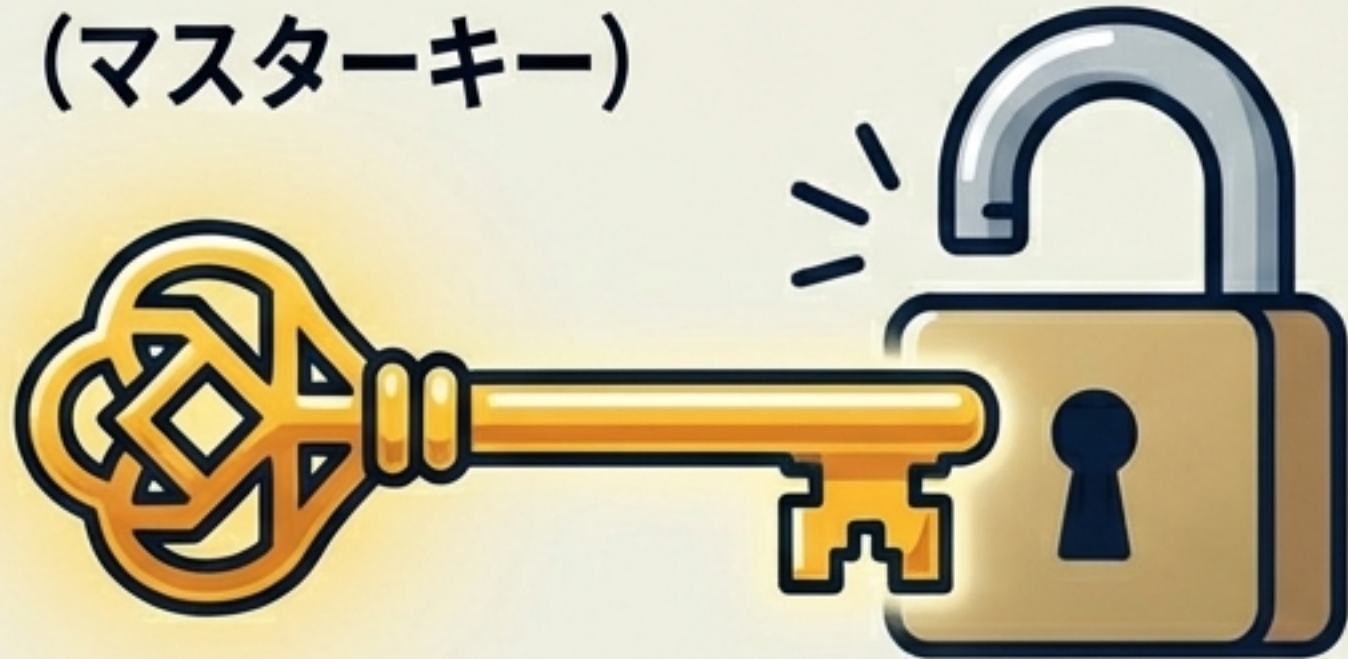
- **選別**：学習範囲を試験頻出論点の「卵黄」部分に徹底的に絞り込む。
- **集中**：時間リソースの100%をこのコア部分に注ぎ込む。
- **深化**：浅く広い学習を捨て、ひねった問題にも対応できる「深い理解」を得る。

戦略2：「考え方の型」を身につける

個別の答えを暗記



考え方の型 (マスターキー)



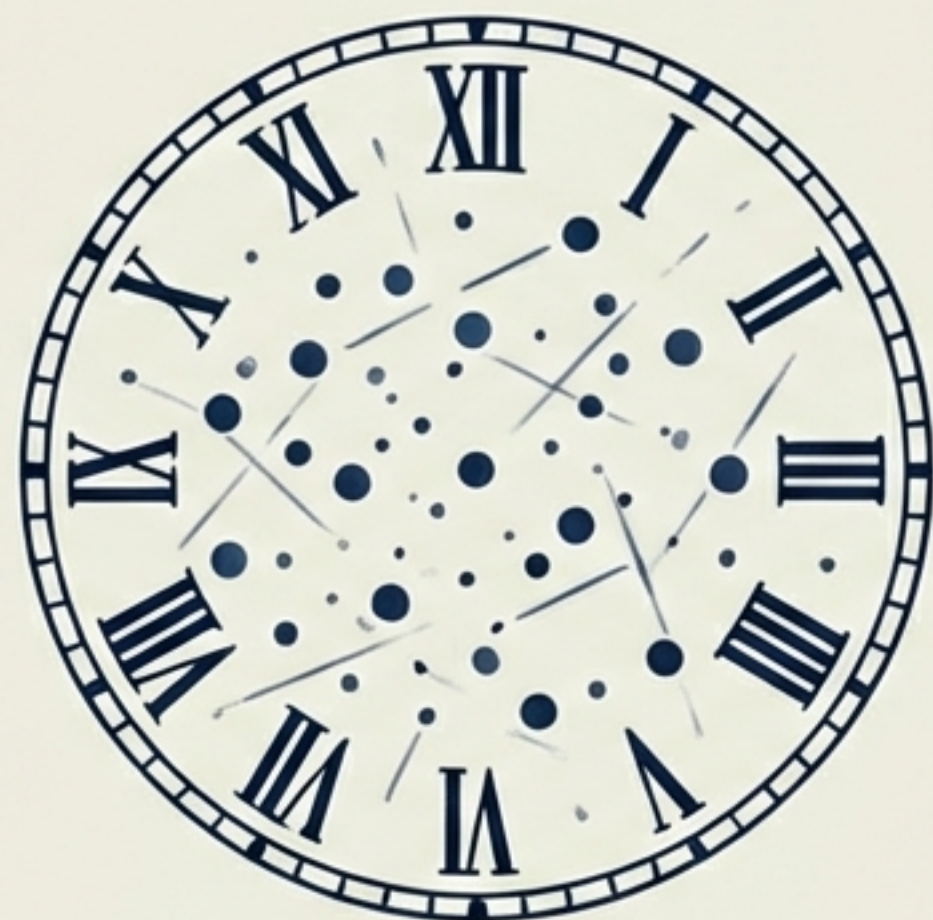
- 適応力：論理のパターン（型）を習得すれば、問い方が変わっても動じない。
- 応用：自分が持つロジックを使って、初見の問題の正解を導き出せる。
- 効率：脳に記憶すべき情報量を圧倒的に減らすことができる。

54歳・働きながらの実証

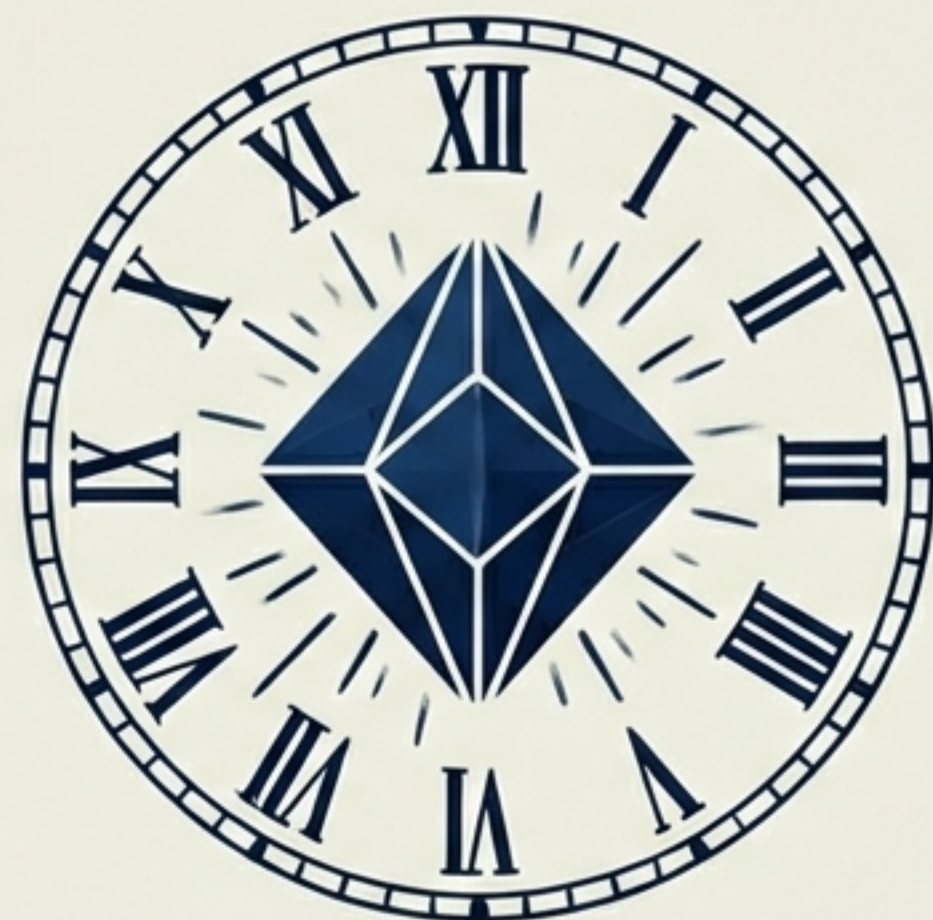
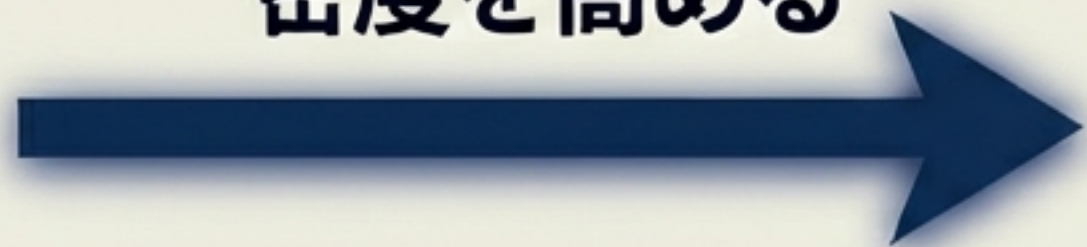


- 実績1：多忙な管理職として働きながら、49歳で公認会計士試験に挑戦し、54歳で合格。
- 実績2：試験初学者の一発合格者多数輩出。
- 論理：膨大な範囲と思考型問題で構成されるCPA試験で通用したメソッド。
- 結論：「この方法がCPAで通用するなら、宅建においては最強の解となる」

時間を「捻出」し、密度を「高める」



密度を高める



- 現実：自由な時間がない多忙な管理職が開発したメソッド。
- 技術：単に隙間時間を探すだけでなく、「時間密度」を極限まで高める。
- 伝授：働きながら難関試験を突破するための具体的な時間管理術を伝授。

現代の武器：AIを活用した超効率学習



- 効率化：理解しづらい概念を、AIを活用して瞬時に噛み砕く。
- 役割：単に答えを聞くのではなく、「なぜそうなるのか」という思考プロセスをAIに解説させる。
- アップデート：現代のテクノロジーをフル活用した、最短ルートの学習法。

宅建合格術ティーチングコース

- ・コンテンツ：各科目の解説講義ではなく、「解き方」と「考え方」を解説する動画講義。
- ・教材：市販の過去問とテキストを使用し、どのように学習するのか思考法を実演。
- ・焦点：レバレッジ学習法を実践形式で身につける。



思考プロセス重視の動画講義

孤独にさせないLINEサポート



- **アクセス**：学習方法についての疑問は、LINEでいつでも質問可能。
- **ガイダンス**：AI活用法やレバレッジ法の適用について直接アドバイス。
- **注意点**：過去問やテキストに対する具体的な質問対応ではなく、合格術に対する質問対応。

こんなあなたに最適です



忙しいビジネス
パーソン・管
理職



暗記学習で失
敗した経験の
ある再受験生



一発合格を狙
う初学者

最小の労力で、最大の合格力を

- まとめ：「卵黄」への集中×「考え方の型」× AIによる効率化。
- 結果：試験作成者がどんなにひねった問題を出しても揺らがない実力。
- 結論：忙しい大人が勝つための、実体験から生まれた唯一無二の戦略。



Executive Editorial